

◎11月5日(土)
作品展示
ふれあい喫茶

◎11月6日(日)
作品展示
ふれあい喫茶

皆さん、読めますか?



「たたき染め」のバックなど

私の作品
どれかな〜

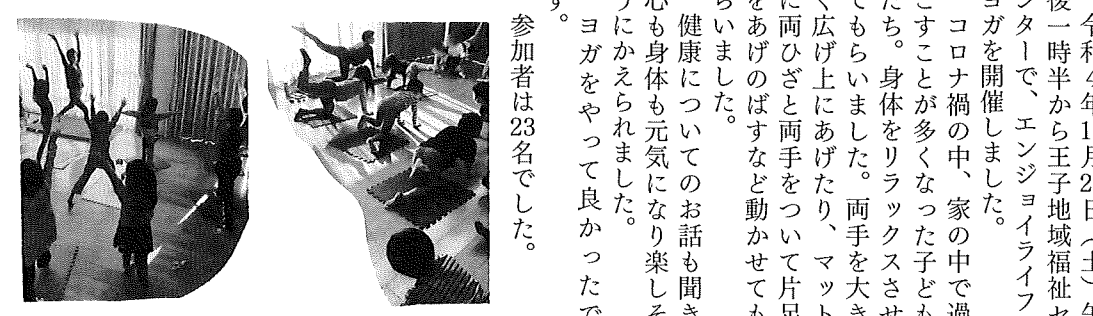
あった!

お面がいっぱい



コーヒー
美味しかった
^_^

かごののってみ"うさぎ"



令和4年11月29日(土)午後一時半から王子地域福祉センターで、エンジヨイライフ・ヨガを開催しました。コロナ禍の中、家の中で過ごすことが多くなった子どもたち。身体をリラックスさせてもらいました。両手を大きく広げ上にあげたり、マットに両ひざと両手をついて片足をあげのばすなど動かさせてもらいました。健康についてのお話も聞き心も身体も元気になりました。うにかえられました。ヨガをやった良かった。参加者は23名でした。

ふれまち王子

王子地域福祉センター行事

第22回文化祭

発行所
王子ふれあいの
まちづくり協議会
〒657-0825
神戸市灘区中原通
7丁目5番1号
電話 078-881-9587
発行者 上弘 正晃
編集者 広報 部
印刷所 旭成 社
神戸市中央区琴ノ緒町1-5-9
電話 078-222-5800

「ヨガ」で リラックス

幼年層

紙面の案内



- 1面 ・第22回文化祭・幼年層(ヨガ)・紙面の案内
- 2面 ・多世代交流事業・クイズの答
- 3面 ・スマホ操作学生お助け隊・プログラミング教室
- 4面 ・子育てプリプリ・お知らせ・クイズ・センター利用方法ときまり
・編集後記

子育て プリプリ

こんにちは、毎月主に第一金曜日、十時二十分〜十二時、地域福祉センター二階で活動しています。0歳から入園前の親子が参加する子育てサークルです。プログラムは保育士さんと遊ぶ。音楽療法士さんの音楽遊び・子育てコーディネーターのお話や遊び、保健師さんの健康や発育の話。手型アートや、マヨガなど親子で楽しめるもの、クリスマスにはサンタさんも登場しました。

また、特別なプログラムはなく、子ども達を遊ばせながら、同じような年令の子どもを持つママ同志として、ゆつくりおしゃべりをする事もあります。

8月には福祉学科の学生さんが来られて、ママ達の話の輪に入り、いつもと違う雰囲気での楽しいおしゃべりとなりました。




お母さんが
楽しそう

ベリの親子交流となりました。コロナのため、プログラムの変更や人数の制限があり、現在募集は開催日の一ヶ月前から一週間前までの間に行っています。QRコードからLINEのオープンチャットに参加していただき、月ごとに申し込みをいただいています。締め切りになることもありますが、余裕のある時もあります。オープンチャットをチェックして是非、参加申し込みしてみてください。

お知らせ
○うこんの桜まつり
コロナで中止が続いていましたが今年開催する方向です。

●灘区子育て情報誌「おひさまだよりの子育てサークル情報」に掲載

※要申込 先着順10組
◎対象…就学前までのお子様と保護者
◎場所…王子地域福祉センター(阪急王子公園駅東口徒歩2分)
※申込連絡先
QRコードからLINEのオープンチャットに参加申し込みをください。当日空きがあれば、当日申し込みも可能ですが人数制限があります。
*参加費1回100円/一家族(保険料含む)



プリプリはプリンス&プリンセスの略。主役は子どもたちです。その子ども達といっしょに親子で楽しい時間を過ごしたいと思いませんか。プログラムもこれをして、こんな事ができるのではないかなど意見をだしていただくと嬉しいですよ。皆さんいっしょに楽しみましょうね。

- ### クイズ
- 同じ部首を加えてできる熟語は?
- 忍 正
 - 昆 谷
 - 吉 内
 - 貫 生

コロナ感染防止対策の規定にそってご利用されるようお願いいたします。

王子地域福祉センター利用方法ときまり

☆利用ご希望の方は、センターへお申込み下さい。
電話での受付は致しておりません。

☆次の場合は、利用できません。
営利目的の利用、冠婚葬祭など個人的な利用、宗教活動、政治活動のための利用。
その他、ふれあいのまちづくり協議会が不適当と認められたもの。

☆休館日・日曜日、祝祭日、お盆、年末年始、警報発令時(但し、センターの都合により休館することがあります。)

利用時間と運営協力金			
利用時間	午前9:30~12:30	午後1:00~4:00	夜間5:30~8:30
使用料	1,800円	1,800円	1,800円

編集後記

厳しかった冬の寒さもようやくすぎました。菜の花が咲き春の風がはこばれる頃になりました。「ふれまち王子」も皆様のご協力のおかげで、第50号を完成させることができました。ありがとうございました。ありがとうございました。春になったとはいえず、寒く冷える日もあります。体調ご自愛下さい。

センター行事

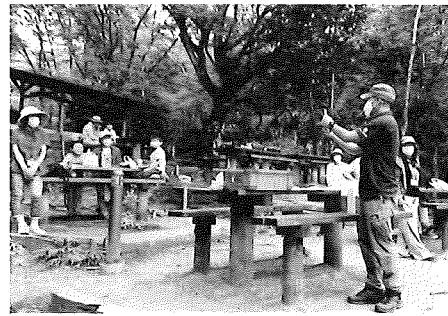
親子等多世代体験型事業

六甲山「自然の家」で遊ぼう

コロナ禍で、本当に行けるのか心配だったこの行事。9月10日(土)は、そんな心配もはね飛ばし、大人10名子ども11名の参加者家族の方と、王子ふれあいのまちづくり協議会のスタッフ16名と共に総勢37名が、2台のバスで六甲山自然の家に行きまわりました。

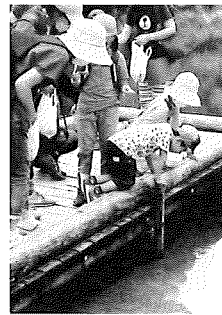
まだまだ残暑の厳しい時期でしたが、雲り空で日照り部分が少なく、園内はたくさんのお木々で日陰の場所も多く気持ちよく過ごすことができました。

まず、メイキングラウンドに集合して入所式をすませ、「自然の家」のスタッフ岡野さんの案内でネイチャーハイクに出発です。岡野さんの案内はまわりを向けて何かを見つけて、何か気がつくこと



説明のていねいな係の方

から始まりました。「この木は何の木?」「この花の名前は?」「ここはなぜこんな形になっているの?」最初のうちは遠慮がちだった子どもたちも、すぐに慣れてきて次々と質問してきます。その一つ一つに岡野さんは、丁寧にエピソードを交えながら皆が興味を持って楽しめるようにお話をしてくださいました。



アッ!何かいる

草花の名前を聞けば、なぜここにあるのか、どんな所に多くあるのか、季節によつてどんなふうに変わっていくのか、次から次へとお話がつながっていきます。一見何も無いように見える場所でも実は小さな虫が通った場所、その虫の特徴や暮らしぶりなどの話を聞くと、他にも何かあるのではないかと、その後少しずつ移動するごとに、まわりを見る目が変わっていきます。

木の幹に開いた穴はキツツキがあけた穴。残念ながらキツツキの姿を見ることができなかつたのですが、キツツキが穴を開けていく様子を想像することもできました。

柿や栗の木も有り、まだ青い柿がついている木を見上げたり、色づいて落ちていく栗のイガの中に栗が入っていないか探したりもしました。

最後は穂高湖です。水辺

の生き物を探し、見つけては観察。小さな魚やざりがにを見つけてはしゃいでいました。他に来ていた人達が「するめ」でざりがに釣りをしているのを見て興味を持ちたりもしました。

テントすいさん場でお弁当のあとは、午後のプログラム「たたき染め」です。自然の家で用意していただいたトートバックにネイチャーハイクの間に集めた植物を使ってたたき染めをしました。

トートバックの上に植物をのせ、プラスチックシートをのせてハンマーでたたきます。植物の水分をトートバックに染み込ませるのです。事前に説明は聞いていますが、いざ始めると思っていたのは少々違っていました。

まず、配置を絵になるように考えてから始める人。とりあえず一つをたたくみてから、あとを考える人などさまざまです。素材によつて染まり方が違って、緑の葉っぱなのに茶色になったり、花の色や形をうつしたいのにぼやけた感じに色が出たりして、それが良い感じになったりして



たたき染めの作品

いました。みんな懸命にたたくて染めました。仕上げに定着液に浸し、あとは家に持ち帰り乾かせば完成です。一枚一枚同じものがないステキな作品が仕上がりました。

その作品を持って、行きと同じバスに乗り帰って来ました。

摩耶山の自然にふれあい、自然の素材を使つてのトートバックのたたき染め。親子・地域の人皆で楽しめた一日でした。

クイズの答え

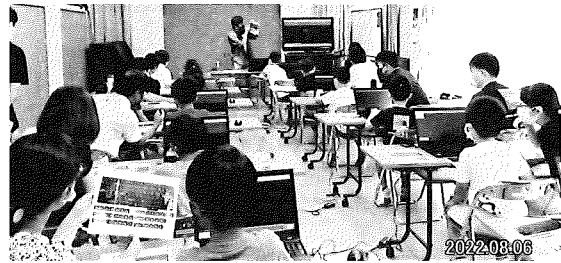
1. (イ) 2. (エ) 3. (オ) 4. (カ) 5. (キ) 6. (ク) 7. (ケ) 8. (コ) 9. (サ) 10. (シ) 11. (ス) 12. (セ) 13. (ソ) 14. (タ) 15. (チ) 16. (リ) 17. (ニ) 18. (ホ) 19. (ヘ) 20. (ト)

夏休み特別企画

小学生向け「プログラミング教室」

○第1回目
令和4年8月6日
参加者10名
午前・午後の予定が台風のため午後中止・午後の追加日として

○第2回目
令和4年12月17日
参加者11名



説明を開いています



親子で考え中



わかったかなあ〜

親子で説明に耳をかたむけチャレンジでした。最後にアンケートの記入をお願いしました。

- ・数字を入れるのむずかしかった。
- ・マウスを動かすのがむずかしかった。
- ・なれたらかんたんだった。
- ・カベを作るのむずかしかったが、教えてもらってかんたんだった。
- ・王子福祉センターに興味をもった。

など書かれていました。王子福祉センターを知ってもらったため開催した意味があり良かったと思います。



スマホ操作学ぶ

10月22日の午後ふれあい喫茶と同時開催をしました。

5名のお助け隊の大学生に「お願いします」とあいさつ。

スマホを出して「どこを押すのかわからない」。

「ラインをしたいが、どうするの」など質問があり、また大学生のリーダーは、お茶を飲んでいる人に「大丈夫でしょうか」「わからないところありますか」と



ここを押してみてください

聞いてまわられると「教えて」と声があり、皆真剣な顔で尋ねていました。にぎわいの中終了しました。



ここを押すと良いのかしら



わからないところありますか